

# 愛知県医師連盟ニュース

発行所  
愛知県医師連盟  
〒460-0008  
名古屋市中区栄4の14の28  
愛知県医師会館5階  
TEL052(251)2500

## 第26回参議院選挙について

第26回参議院議員通常選挙は令和4年7月10日に投・開票が行われ、日本医師連盟を始め当連盟も推薦し全面支援した現職の自見はなこ参議院議員が比例代表制で見事再選を果たしました。



### ご挨拶

愛知県医師連盟  
委員長 柵木 充明

### 「第26回参議院選挙を振り返って」

選挙後の会員の意識調査の結果が遅れたため、本号の発刊が遅くなり、会員の皆様にご迷惑をおかけしたことまづもって深くお詫び申し上げます。

さて、今回の第26回の参議院選挙、日本医師連盟は2期目となる自見はなこ議員を擁立し、コロナ禍の中での選挙戦でした。野田選挙対策委員長の強力な指揮の下、選挙戦が幕を開けましたが、大規模集会もできず、そもそも対面の集会自体が憚れる環境の中で、新型コロナ対応に追われ、「選挙どころではない」とする声が多い中で、どのような活動をしたらいいのか、手探りの状態が続きました。

前回の羽生田選挙では当選はしたものの、得票数を大きく下げ、今回は雪辱戦として選挙戦に臨んだわけですが、新型コロナ感染症が蔓延する中での雲をつかむような選挙戦、会員の意識も今ひとつ盛り上がり欠け、一時は集票が難しく、当選することも危ぶまれていました。

医師会が関わる選挙は地方議会、首長選、衆参の国政選挙と様々ありますが、3年に1度開催される参議院選挙は、愛知県医師連盟にとっても、最も重要な位置づけの選挙です。

無論他の選挙は手を抜いてもいいというわけではありませんが、参議院選比例代表は日本医師連盟が組織候補を擁立するため、連盟の存立が問われ、医師会の力が試される選挙だからです。

投票方法は比例代表非拘束制であり、投票の際

し、党名もしくは候補者名を書くこととされており、候補者の得票数がその候補者を擁立した組織の力となり、これが数字で現わされます。

全国での得票数によって当選順位が決まりますが、各都道府県、市町村単位でもそれぞれ候補者の得票数がわかり、国会議員、地方議員、各首長など政治家と称する人々はすべて各候補者の出身母体とその票の出方を注視しています。

投開票が終わり、蓋を開けて見れば、自見はなこ候補は213,369票を獲得し、自民党内の全国区比例代表非拘束(特定枠除く)で6位、医療系第1位と歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会等の代表に遅れを取ることなく当選を勝ち取ることができました。

また、愛知県医師連盟においては前々回、前回の参議院選挙でそれぞれ6,670票、5,952票であったことを勘案し、今回は1万票を超える得票を目指しましたが、わずかに及びませんでした。それでも目標に近い9,716票を獲得し、10点満点とは言えないまでもよく健闘したと評価していると思います。

特に頑張ってもらった野田選対委員長始め、一宮、碧南、名古屋市瑞穂区、また、今回は今枝宗一郎代議士が愛知14選挙区で、地区の会員諸先生方とともに2,300票余りを獲得してくれました。

重ね重ねお礼を言いたいと思います。

遅れていた愛知県医師会会員の意識調査、3年前と比較してグラフ化して掲載しておきました。郵送した無記名式のアンケート調査の回収率が悪く、前回と同様ファックスで地区医師会に取りまとめてもらい、総数がやっと50%弱になったところで集計ができました。

この作業に時間を要し、愛知県医師連盟ニュースの発行が遅れてしまいましたが、会員の政治に関する意識がある程度わかり、調査した甲斐はあると思っています。

アンケート上は投票に行ってもらった会員が85%を占めていますが、これはアンケートに応じて頂

いた会員が対象ですので、逆に、応えて頂かなかった会員では真逆の結果となった可能性もあります。

一番知りたいのが会員の参議院選挙に対する考え方です。

3年前より集票は圧倒的に多かった割には、会員の政治に対する意識には大きな変化はなく、医療制度が政治の場で決定され、これをより良くしていくためには、医師会の代表者を国会に送り込む必要性については多くの会員に理解を頂いているものと考えられます。

愛知県医師連盟は、今後も政治活動と選挙活動を2本の柱として運営して参りたいと思っています。中でも3年に1度の参議院選挙はこれからも愛知県医師連盟の主要行事として続いていきます。今回の経験を糧として今後ますます連盟が進化することを願っています。



## ご挨拶

参議院議員  
自見 はなこ

柵木充明委員長をはじめ、愛知県医師連盟の先生方には平素より多大なご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の第7波の中で医療提供体制を守るためご尽力頂いておりますことに心より敬意を表します。

6月22日公示、7月10日投開票で行われた第26回参議院選挙は、コロナ下で行われた非常に厳しい闘いでしたが、愛知県医師連盟の先生方におかれましては総決起大会をはじめ熱烈的な後援活動を展開して頂き、心から勇気づけられました。

結果的に愛知県で9,716票、全国で213,369票という、1期目の得票を上回る数のご負託を賜り、自民党内6位(特定枠を除く)、社会保障系1位の成績で当選を果たすことができたのは、先生方のご支援の賜物と心得ます。再び議席を預かる大きな責任に、身が引き締まる思いです。

さらに、投開票の1ヶ月後の8月10日、第2次岸田改造内閣において、内閣府大臣政務官を拝命致しました。松野博一官房長官、小倉将信大臣、岡田直樹大臣のもとで、拉致問題、こども政策、共生社会、女性活躍、孤独・孤立対策、少子化対策、男女共同参画、沖縄及び北方対策、地方創生、規制改革、クールジャパン戦略、アイヌ施策、デジ

タル田園都市国家構想、行政改革担当と、幅広い分野を担当することとなり、就任早々勉強の日々ですが、先生方にお支え頂いて重責を担わせて頂いているのだと、感謝の念に堪えません。

2018年に議員立法で成立した成育基本法に基づいて創設に取り組み、来年4月の設置が決まった「こども家庭庁」について担当させて頂けることも、心から嬉しく思います。「こども家庭庁」創設によって目指す政策は、行政の縦割りの弊害を克服して、子ども達への切れ目ない支援を実現するとともに、子ども関係予算を将来的には倍増させることです。「こども家庭庁」ができることで、これまで各省の予算のシーリングの範囲内で采配されてきた子ども関係予算を独立して確保し、欧州先進国並みのGDP比3%程度まで高め、母子保健の更なる充実や専門人材の育成を推進して参りたいと考えています。

本年8月30日に公表された「こども家庭庁」の初めての予算となる2023年度当初予算の概算要求では、これまでの厚生労働省と内閣府の子ども施策に加え、地域におけるいじめ防止対策の体制構築の推進や子供の居場所作りモデル支援事業、未就園児を定期的に預かるモデル事業、子供関連業務従事者の性犯罪歴確認の仕組みである日本版DBSの導入検討などが新規事業として盛り込まれています。2023年4月の発足に向けしっかりと予算を確保するとともに、発足後に始まる「こども大綱」の策定など、新省庁に魂を込めていく仕事に全身全霊で取り組んで参ります。

地方創生も、医療提供体制を支えていく上で重要なテーマです。医療がなくては地域共同体は維持できません。規制改革、デジタル田園都市国家構想とも併せて、へき地におけるオンライン診療(D to P with N)の活用など、山積する諸課題に取り組んで参ります。また、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」についても所管することとなりました。医療機関、介護施設、保育所・幼稚園・認定こども園等において、食料料費の値上げや、光熱水費の高騰への対策として活用できる交付金であり、現在は1兆円ですが岸田総理大臣が積み増しを指示し、9月上旬に内閣府で具体的な対応策を取りまとめることとなっています。交付金以外の新たな支援策も含め、自治体と連携しつつ現場に支援が届くよう取り組んで参ります。

他にも、社会保障を取り巻く諸課題は数多くありますが、厚生労働副大臣に就任された羽生田たかし先生と二人三脚で行政の一翼を担い、先生方のご期待に応えるべく、全身全霊で頑張ります。変わらぬご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。



愛知県医師連盟  
副委員長  
選挙対策委員長  
野田 正治

## 第26回参議院選挙を振り返って

### 1 はじめに

今回第26回参議院議員通常選挙は、令和4年6月22日公示、同年7月10日投票日の日程で行われた。我々日本医師連盟の組織内候補者である自見はなこ氏は、得票総数213,369票で自民党比例代表公認候補の中では6番目(特定枠除く)、医療福祉系9候補者の中ではトップ当選であった。当愛知県においても、得票総数9,716票であり3年前の羽生田たかし氏の選挙での5,952票と比べても3,700票余りの票を伸ばす好結果となった。この結果については、新型コロナウイルス感染症対策で、多忙で厳しい対応を強いられている中での結果であり、愛知県医師連盟の会員先生方のお力の賜物だと深く感謝する次第である。今回の参議院選挙における約6ヶ月間の総括を行いたい。

### 2 公示前の政治活動

公示前の選挙活動については、前回の選挙を概ね踏襲する活動を行った。主なものとしては医師連盟役員の各地区訪問、サポーター名簿の収集、選挙活動用のリーフレット、ポスター、ビラの配布などである。今回は従来のこれらの活動に加え「LINE友達登録」と「自見はなこビデオメッセージ」を使った活動を行った。

#### (1) LINE友達登録

LINEは言うまでもなくスマートフォンの普及に伴って使われるようになったメッセージングアプリである。日本での普及は著しく、若者を中心に普及が始まり、現在ではスマートフォンを使用する全年齢層で使われている。

2013年改正公選法で電子メールでの選挙活動は禁止されたものの、LINEやFacebook, Twitterを使用することが可能となった。従来からのサポーター名簿での登録と比べ候補者の主張を随時送信することができ、またその内容を読んでもらえる可能性が高いことから有力な選挙活動手段となった。このLINE友達登録数については、定期的な日医連から報告があり当県の結果は、令和4

年7月11日で登録数345件と目標総数1,395件に対し全国で24位、達成率24.7%と低調であった。このLINEの登録については初めて医師連盟の執行委員会で紹介したのが4月17日と若干出遅れ、さらに執行委員の多くが日常的にLINEを使用していなかったため、友達登録という手段を円滑に伝えることに手間取った。その結果得票数を伸ばすほどのインパクトを持つに至らなかった。この原因はLINEへの取り組みが4月と大変遅かったことが挙げられる。しかし、今後の戦略を考えるとLINEに限らずSNSの利用は必須であることは論を俟たないため、取り組み方法や今後出てくるLINE以外のアプリにも注意を払うべきである。

#### (2) サポーター名簿

従来から行っていたサポーター名簿の収集の結果は、目標数46,500に対し登録数8,809で全国で38位、達成率21.1%であり後半一宮市、東海市、碧南市、蒲郡の各医師連盟の追い込みがあったが、結果的にはLINEと同様に伸び悩んだ。従来からサポーター名簿数と得票数は比例すると言われ、収集に力を入れてきた。しかし、サポーター名簿獲得数と得票数について分析すると明らかな相関は認められなかった。従って、従来からのサポーター名簿の獲得努力は選挙取り組みへのモチベーションを惹起する手段としては有効であるが、獲得数が必ずしも得票数につながっていないことには留意しなければならない。

#### (3) ビデオメッセージ

今回はスケジュールの調整がつかず、決起集会等を開催し候補者が直接会員に語りかけてもらう機会を持つことはできなかった。そこで、自見はなこ事務所に対し、愛知県医師連盟の会員向けのビデオメッセージ作成の依頼をした。このビデオメッセージでは「政治の世界では、いかに選挙で得票するかが重要であり、更には、他の医療系の職種より一票でも多いということが非常に重要視をされ、前回の参議院選挙で医療系の票を最も取った看護と2番目の薬剤師に手厚い施策がなされた」と候補者のいつもの明るい表情とは異なり、悲壮感さえ漂わせ真剣で強い口調で訴え、本人の選挙展望のみならず医師会の置かれた状況についての危機感が伝わったものであった。このビデオメッセージを試聴したところ、候補者の思いを会員に伝えることが有効であると確信し各医師連盟に配布し一人でも多くの会員に見てもらえるように手配した。決起

集会は能動的に参加するものであるので大幅な票の上積みは期待できない。一方、各地区で会員が集まる機会があるごとにビデオメッセージを流すことは、本人がすべての地区に顔を出すことが不可能である以上、会員に直接語りかけることと同等に近い効果があると考え。特にその内容において得票数と当選順位が政治的に大きな意味を持ち、医療政策における発言力を左右すると訴えた内容が会員の心に響いたことは明白であった。今後の戦略としてビデオメッセージは有力な手段となりうることを示しており、機会あるごとに各地区で流すことを提言したい。

### 3 公示後の選挙運動

公示後の選挙運動については、選挙ポスターの掲示、選挙はがきの配布、推薦団体への応援依頼等、基本的には従前のやり方を踏襲した。

その中で、今回の選挙においては、7月1日に選挙の街宣車が、当県に入り、県下の医療機関において街宣、街頭活動を行った。立ち寄った各医療機関、関係団体などのスタッフの方々は診療時間帯にも拘らず多数くお集りいただき、柵木委員長を始めとして、今枝代議士、地区医師連盟委員長の熱意のこもった応援演説に集まった支援者の反応に手ごたえを感じた。

### 4 結果の検証

今回の選挙では、前回の参議院選挙に比べ3,700票余り票を伸ばす好結果となった。これは各地区の医師連盟が創意工夫をし、強力に活動した成果の賜物である。特に、一宮市、岡崎市、名古屋市瑞穂区については、前回の参議院選挙に比べ倍近く票を伸ばした。また、特筆すべきは今枝宗一郎代議士の獅子奮迅の活躍である。その結果大きく票を伸ばす結果となったことも忘れてはならない。

### 5 おわりに

今回、コロナウイルス感染症対策に忙殺され、選挙対策が大きく出遅れたため大変厳しい選挙戦になった。しかし、多くの会員の力で後半戦を盛り返した。3年に一度の参議院の選挙は、医師会にとって極めて大切な選挙である、それは、我々医師の主張を国政において実現させるには政治力が必要になるからである。その為には、柵木委員長が何度も強調する通り思想信条党派を超えてなんとしても医師連盟の組織内候補者を高位で当選させなくてはならない。今回有効であったと考えられる選挙活動を次の参議院選挙に向けてさらに磨きをかけ準備をしていきたいと思っているので、会員の先生方の更なる協力を願う次第である。



愛知県医師連盟  
会計責任者  
選対役員  
檜尾 富二

## 参議院選挙を振り返って

第26回参議院選挙は柵木医師連盟委員長、野田選挙対策委員長の指導の下で選挙活動を行ってきました。今回は新型コロナウイルスの真ただ中での選挙戦で、多数の人が集まる集会や各地区での会議等も制限がなされる状況下で行われました。

しかし結果としては、日本医師連盟推薦の自見はなこ氏は自民党比例代表の6番目、医療系の候補の中でもトップで当選といううれしい結果となりました。医系議員の得票数、当落は表1に載せてあります。歯科医師連盟、看護連盟、薬剤師連盟の候補を抜いて医師連盟代表の自見はなこ氏が21万3,369票を獲得しました。都道府県別での得票は表2のごとく愛知県は総得票数9,716票、会員一人あたり2.08票で全国31位という結果でした。前回の得票数6,670票よりは確実に増加していますが、今回は総得票1万票越えを目指したいと思えます。

今回の選挙活動を振り返ってみたいと思います。公示前の選挙活動の主なものとしては前回までと同様、医師連盟役員の各地区訪問、選挙活動用のリーフレット、ポスター、ビラの配布、サポーターの獲得、名簿の収集を行いました。

各地区医師連盟のサポーターの獲得数は表3に載せてあります。サポーター獲得率で最も高かったのは一宮市医師連盟で目標の102%達成です。その他50%以上達成は蒲郡、東海市、碧南市、豊川市医師連盟です。県平均は21%で全国38位の結果でした。全体には低調な結果で今後サポーターの獲得数増加も目指したいと思えます。

今回はスマートフォンのLINEアプリを利用した、自見はなこ候補とのLINE友達登録推進をお願いしました。自見はなこ候補からラインメッセージが定期的に送られ、リーフレット、ビラとはまた違ったアプローチができたと思えます。しかし愛知県全体でLINE登録数は345名と低く、目標達成率は24.7%で全国では24位の結果でした。

今回はコロナ感染下でもありスケジュールの調整がつかず、自見はなこ候補の愛知県での決起集会、候補者の対面での演説が行われませんでした。それに代わるものではありませんが、愛知県医師連盟としてビデオメッセージ作成をお願いし、県

医師連盟、地区医師連盟でもビデオでの政策の訴え、候補者の思いを放映していただきました。獲得票の増加に寄与したのではないかと思います。

公示後の選挙運動につきましては、選挙ポスターの掲示、選挙はがきの配布、推薦団体への応援依頼等、基本的には従前同様の運動を行いました。今回の選挙では7月1日に選挙の街宣車が当県に入り、自見はなこ氏は不在でしたが、**本誌6ページ**掲載の写真の通り光生会病院（豊橋市）を皮切りに、蒲郡駅前、岡崎市医師会、岡崎東病院、いのこし病院（名東区）、済衆館病院（北名古屋市）、大雄会病院（一宮市）において街宣、街頭活動をおこないました。この選挙の街宣車による選挙活動では、立ち寄った各医療機関、関係団体などのスタッフの方々に診療時間帯にもかかわらず数多くお集り頂き、柵木委員長、野田選対委員長、今枝代議士を始めとして、会員の先生方が自見はなこ氏への投票を呼び掛けました。

自見はなこ氏の愛知県得票数は9,716票と前回参議院選挙より3,700票あまりの票を伸ばす好結果となりました。**表4**のごとく各地区医師連盟別の得票数では豊川市が1,126票と愛知県トップの票を獲得しており、会員あたりの得票率でも北設楽郡、新城市、蒲郡と今枝代議士の地元の14区の獲得率が際立っています。その次に名古屋市瑞穂区、一宮市、岡崎市の健闘が称えられます。選挙活動にご尽力いただいた先生方、医療関係者、そして投票していただいた皆様方に感謝申し上げます。

今回の選挙結果を受けて、県下のA会員4,680人に対し、前回の参議院選挙と同様にアンケート調査を実施しました。実施方法につきましてはA会員全員にアンケートを郵送し、今回の解答方法はインターネット回線を利用して愛知県医師連盟へ直接報告していただき集計する方法を取りました。しかし回答数が1,000名程と全体の20%にとどまり、回答数が少ないと言うことで再調査を行いました。そして前回同様に再調査は各地区にファクスで回答いただき、地区で集計して愛知県医師連盟へ報告していただく方法に戻しました。その結果、会員の43.7%、2,044人から回答をいただきました。

アンケート調査の結果は**表5**の通りで、質問項目とその回答、地区別の数字を一覧表にしております。一枚に収めたため細かい表となってしまいました。回答率の最も多かったのは碧南市医師連盟、次に蒲郡医師連盟、半田市・岩倉市医師連盟も70%以上の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

質問ごとに今回と前回の回答を比較しながらグラフにしたのが**表6**になります。

**質問Ⅰ**は投票の有無で、投票に行った人が回答者のうち今回は85%、前回の81%より増加しています。実際の得票数も前回よりかなり増加しており選挙への関心が高くなったおかげだと思います。

**質問Ⅱ**は比例区でどのような投票をしたかを聞きました。候補者名自見はなこ氏を記載した人は63%で前回の59%より若干増加していますが、参議院比例代表選挙では候補者名を書かなければ医師連盟候補の得票に直結しません。自民党の政党名で投票した人が13%みえました。この票は自民党候補に案分されてしまうため候補者名での投票依頼を徹底したいと思います。投票先の回答をいただけなかった人も15%います。どこへ投票されたのでしょうか。

**質問Ⅲ**は投票に行かなかった理由を聞きました。半数の51%の人が当日急用があつて投票に行けなかったと回答しています。公示日以降は期日前投票が可能ですので、投票日当日いけない可能性のある人を含め、できるだけ期日前投票に行っていたらよい周知したいと思います。支持する候補・政党がない、政治に興味がないという正直な回答も合わせて32%ありました。理解を深めていただくよう努力を重ねたいと思います。

**質問Ⅳ**では医療制度にかかわる政策が国会で決まると思うか聞きました。そう思うとの回答は50%の半数ですが前回の66%より減少しています。そう思わない人も前回より減ってはいますが、今回わからないとの回答が27%ありました。医療制度、診療報酬等、医療に関する政策の決定がどのようになされているか今後も会員に周知する必要があります。

**質問Ⅴ**では医療制度をより良くするために医師会の代表の国会議員が必要だと思いますかを質問しました。そう思う人は今回82%で前回の95%から残念ながら減少し、わからないとの人が14%みえました。選挙の時だけでなく、普段からの政治活動も通じて会員の先生方に政治活動の意義を理解していただけるよう努力していく必要性を痛感しました。

今回の参議院選挙はコロナ感染症の中、先生方も発熱外来、ワクチン接種等多忙で、また感染対策で集会もままならない中、選挙運動も制限され思うように活動できませんでした。一時は自見はなこ氏の当選が危ぶまれる状況ともいわれましたが、愛知県はじめ全国の医師連盟会員が一致団結して選挙活動に取り組み、見事当選、しかも医療系でのトップ当選を勝ち取ることができました。先生方にお礼を申し上げるとともに、次回の参議院選挙には今回の選挙の教訓をもとに医師連盟が結束してさらなる結果が出せるよう努力していきたいと思っています。

7月1日(金) 選挙カーによる訪問先の様子(左から右へ訪問先順)



豊橋市「光生会病院」において支援に集まっていた病院スタッフ



蒲郡駅ロータリー前で行われた今枝代議士による街頭演説



岡崎市医師会において支援に集まっていた岡崎市医師会職員



岡崎東病院において病院スタッフに対し支援を求める柵木委員長



岡崎東病院において自見はなご選挙カーに応援メッセージを記す柵木委員長



名古屋市長東区「いのこし病院」において支援に集まっていた病院スタッフ



北名古屋市「済衆館病院」において支援に集まっていた病院スタッフ



一宮市「大雄会病院」において支援に集まっていた病院スタッフ

表1

自民党(全国比例区)公認候補者中の医系議員の得票数及び当落

2022/7/12現在

順位	当落	候補者名	区分	経歴・主な支援団体(日医連調べ)	得票数
1	当	自見 はなこ	現	1期 医師 日本医師連盟	213,369
2	当	山田 宏	現	1期 医師 元杉並区長 日本歯科医師連盟	175,871
3	当	友納 理緒	新	看護師 弁護士 日本看護連盟	174,335
4	当	今井 絵理子	現	1期 歌手 全日本ろうあ連盟	148,630
5	当	神谷 政幸	新	薬剤師 日本薬剤師連盟	127,188
6	落	小川 克巳	現	1期 理学療法士 理学療法士連盟	118,222
7	落	木村 義雄	元	1期 元衆議院議員(香川2区7期)元厚生労働副大臣	113,925
8	落	園田 修光	現	1期 社会福祉法人理事長 全国老社施設協議会等	93,380
9	落	高原 朗子	新	臨床心理士 元熊本大学教授	17,542

\* 自民党の獲得議席は18であった。自見議員は8位で当選。

表2

自見はなこ都道府県別の得票数(順位)

都道府県	R4.7.10執行 第26回参議院選挙(自見候補)			
	A会員数	得票数		順位
		総数	A会員一人あたり	
福岡県	3,894	34,399	8.83	1
群馬県	1,276	6,591	5.17	2
熊本県	1,299	6,353	4.89	3
鹿児島県	1,137	5,449	4.79	4
長崎県	1,110	5,127	4.62	5
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
東京都	10,069	23,660	2.35	24
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
愛知県	4,680	9,716	2.08	31
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
神奈川県	5,569	10,528	1.89	34
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
千葉県	2,932	4,432	1.51	40
滋賀県	846	1,272	1.50	41
新潟県	1,212	1,775	1.46	42
京都府	2,124	3,091	1.46	42
広島県	2,236	3,134	1.40	44
兵庫県	4,521	6,302	1.39	45
和歌山県	882	1,128	1.28	46
大阪府	7,450	8,248	1.11	47
合計	82,946	213,369	2.57	

会員数はR3年12月1日現在

## 愛知県のサポーター獲得状況及びLINEの登録状況一覧

表3

## ○サポーター獲得目標数及び獲得サポーター数

地区名等	A会員数	目標達成率	獲得サポーター数	獲得目標数
名古屋市医師連盟	1,865	12.0%	1,798	14,928
一宮市医師連盟	231	102.4%	2,356	2,300
瀬戸旭医師連盟	117	0.6%	9	1,392
半田市医師連盟	69	13.2%	108	816
春日井市医師連盟	189	3.9%	77	2,000
津島市医師連盟	45	0.0%	0	540
小牧市医師連盟	90	2.9%	30	1,044
東海市医師連盟	63	68.0%	136	200
岩倉市医師連盟	24	7.1%	17	240
東名古屋医師連盟	170	0.4%	8	1,800
西名古屋医師連盟	83	0.0%	0	900
尾北医師連盟	129	9.9%	132	1,332
稲沢市医師連盟	78	7.7%	72	936
海部医師連盟	139	2.0%	31	1,560
知多郡医師連盟	188	4.1%	91	2,244
豊橋医師連盟	226	15.5%	309	2,000
岡崎市医師連盟	219	17.7%	418	2,364
豊川市医師連盟	96	54.0%	162	300
碧南市医師連盟	35	64.0%	261	408
刈谷医師連盟	128	27.0%	337	1,250
豊田加茂医師連盟	215	7.6%	126	1,660
蒲郡医師連盟	47	78.4%	431	550
安城市医師連盟	97	0.0%	0	500
西尾市医師連盟	76	21.0%	189	900
北設楽郡医師連盟	5	0.0%	0	24
新城医師連盟	28	10.9%	34	312
田原市医師連盟	28	14.0%	14	100
愛知県医師連盟事務局他			2,663	
合計	4,680	21.1%	9,809	46,500

## ○LINEの登録状況

都道府県名	A会員数	目標達成率	LINE登録者数	LINE登録目標数
愛知県医師連盟(順位24位)	4,680	24.7%	345	1,395

愛知県内各地区医師連盟別の得票数(前回との比較)

表4

第26回 (令和4.7.10執行)						第25回 (R元.7.21執行)	第24回 (H28.7.10執行)
区分	得票数	A会員数	A会員1人当たりの得票率	順位	得票数	得票数	
名古屋市	千種区	380	167	2.28	11	338	407
	東区	195	82	2.38	9	163	201
	北区	143	123	1.16	33	113	127
	西区	132	107	1.23	30	114	152
	中村区	111	156	0.71	42	103	107
	中区	113	158	0.72	41	96	96
	昭和区	308	110	2.80	8	247	250
	瑞穂区	304	85	3.58	5	211	270
	熱田区	55	55	1.00	36	32	56
	中川区	137	127	1.08	35	99	125
	港区	86	69	1.25	28	42	281
	南区	98	100	0.98	37	84	115
	守山区	123	106	1.16	33	74	110
	緑区	235	165	1.42	25	171	206
	名東区	275	131	2.10	14	198	227
天白区	207	124	1.67	17	131	254	
小計	2,902	1,865	1.56		2,216	2,984	
尾張部	一宮市	702	231	3.04	6	437	311
	瀬戸旭	194	117	1.66	18	142	115
	半田市	148	69	2.14	13	144	107
	春日井市	235	189	1.24	29	129	155
	津島市	37	45	0.82	40	20	39
	小牧市	77	90	0.86	39	79	95
	東海市	88	63	1.40	26	55	81
	岩倉市	23	24	0.96	38	18	22
	東名古屋	277	170	1.63	19	162	148
	西名古屋	113	83	1.36	27	61	73
	尾北	203	129	1.57	21	124	136
	稲沢市	125	78	1.60	20	112	108
	海部	171	139	1.23	30	114	164
知多郡	319	188	1.70	16	229	255	
小計	2,712	1,615	1.68		1,827	1,809	
三河部	豊橋	422	226	1.87	15	318	343
	岡崎市	661	219	3.02	7	337	308
	豊川市	1,126	96	11.73	3	345	293
	碧南市	82	35	2.34	10	118	88
	刈谷	201	128	1.57	21	164	159
	豊田加茂	314	215	1.46	23	172	199
	蒲郡	519	47	11.04	4	103	130
	安城市	115	97	1.19	32	110	79
	西尾市	172	76	2.26	12	140	159
	北設楽郡	88	5	17.60	1	8	3
	新城	361	28	12.89	2	57	78
	田原市	41	28	1.46	23	37	38
小計	4,102	1,200	3.42		1,910	1,877	
合計	9,716	4,680	2.08		5,952	6,670	

A会員数は、令和4年6月現在のものを使用

得票数の小数点以下第3位を四捨五入し、案分票の関係で合計は必ずしも一致しない。



第26回参議院選挙並びに第25回参議院選挙アンケート結果対比状況

表6

参議院選挙状況

○第26回参議院通常選挙(令和4年7月10日執行)

・自見はなこ議員選出

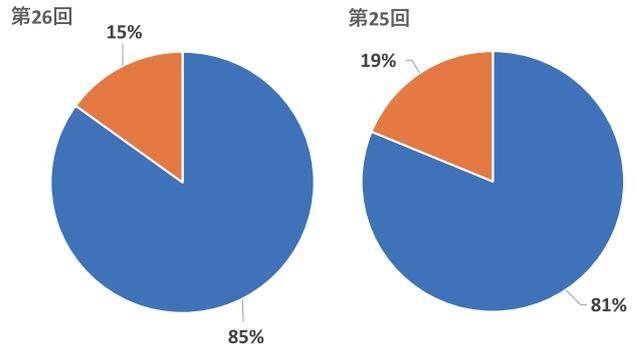
全国獲得票数 213,369票  
 愛知県獲得票数 9,716票(全国31位)  
 A会員数 4,680名  
 アンケート回答数 2,044名(43.7%)

○第25回参議院通常選挙(令和元年7月21日執行)

・羽生田たかし議員選出

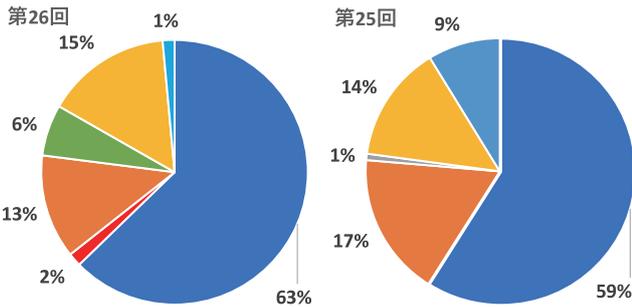
全国獲得票数 152,807票  
 愛知県獲得票数 5,952票(全国34位)  
 A会員数 4,495名  
 アンケート回答数 1,984名(44.1%)

質問Ⅰ 投票の有無



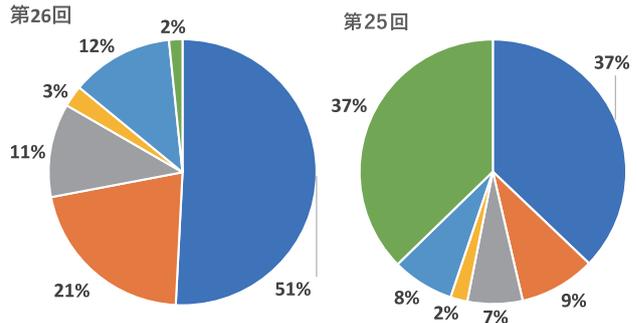
参議院選	行った	行かなかった	合計
第26回	1,737	307	2,044
第25回	1,612	372	1,984

質問Ⅱ 投票方法



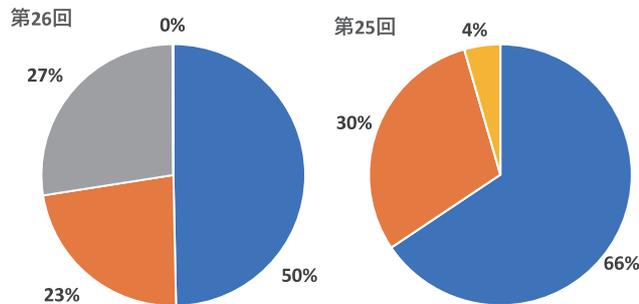
参議院選	候補者で投票	政党で投票	その他	回答拒否	無回答	総合計	
第26回	1,089	28	221	109	265	25	1,737
第25回	1,060	313	109	14	254	157	1,798

質問Ⅲ 投票に行かなかった理由



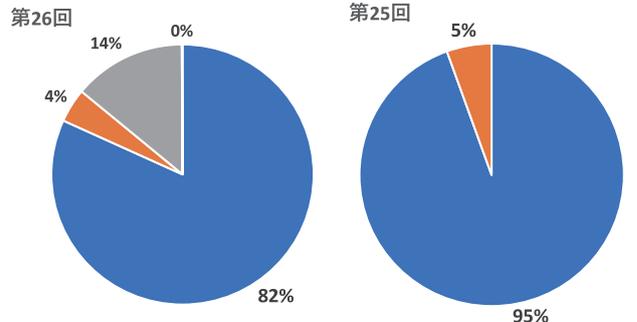
参議院選	当日急用があつて投票に行けなかった	支持する候補者政党が無い	政治に興味がない	医師会が政治活動することに意義を見出せない	その他	無回答	合計
第26回	156	65	35	8	38	5	307
第25回	217	54	39	12	44	218	584

質問Ⅳ 医療制度に関わる政策は国会で決まると思われますか



参議院選	思う	思わない	分からない	無回答	合計
第26回	1,015	467	560	2	2,044
第25回	1,299	594	88	2	1,981

質問Ⅴ 医療制度をより良くするために医師会代表の国会議員が必要だと思いますか



参議院選	思う	思わない	分からない	無回答	合計
第26回	1,672	86	284	2	2,044
第25回	1,825	106	2	2	1,931

# 愛知県医師連盟の役員改選について

## 愛知県医師連盟役員改選

令和4年7月21日(木)第2回執行委員会におきまして、委員長以下、役員13名並びに参加14名が承認されました。

### 愛知県医師連盟役員・執行委員等名簿

令和4年9月8日

委員長	柵木 充 明
副委員長	野田 正 治    浅井 清 和    加藤 雅 通    服部 達 哉
常任執行委員	山根 則 夫    瀬瀬 雅 明    市川 朝 洋
会計責任者	樫尾 富 二
会計責任者職務代行者	大輪 芳 裕
会計監督者	伊藤 剛    野口 良 樹    伊藤 宣 夫

#### 各 地 区 執 行 委 員

地 区 名	責 任 者	委 員 名
千種区	○ 岩田 宏	
東区	○ 加藤 康二郎	
北区	○ 小林 邦生	
西区	○ 河合 宏紀	
中村区	○ 谷 能之	
中区	○ 多和田 俊保	
昭和区	○ 安井 元司	
瑞穂区	○ 村上 京子	
熱田区	○ 川村 益生	
中川区	○ 松本 幸三	
港南区	○ 長谷川 恒雄	
守山区	○ 山口 賢司	
緑区	△ 坂崎 由紀夫	
名東区	○ 牧 篤彦	
天白区	○ 野田 泰永	
一宮市	○ 櫻井 義也	野村 敦    清水 智雄    高御堂祥一郎    宇野 格
瀬戸市	○ 金森 俊輔	青山 貴彦
半田市	○ 竹内 一浩	隈井 知之    和田 映子
春日井市	○ 前田 誠司	
津島市	○ 奥村 嘉浩	
小牧市	○ 高野 健市	
東海市	○ 小嶋 真一郎	
岩倉市	○ 檜木 治幸	
名古屋西名古	○ 早川 真人	齊藤 雄二    高 村 瀬 範
尾張北	○ 山田 和彦	
稲沢市	○ 笠原 純一	前田 豊    横井 寿
海多	○ 羽村 達也	竹内 寧
豊橋市	○ 山本 和彦	江崎 雅彰    横井 尚    大林 幹尚
岡崎市	○ 小原 淳	小出 信澄    金子 佳史
豊川市	○ 後藤 学	
碧南市	○ 生田 譲	
刈谷市	○ 世古 凡	磯貝 毅
豊田加茂郡	○ 加藤 真二	伊藤 直史    高橋 昌久
蒲安城	○ 近藤 耕次	
西北尾	○ 岡本 雅彦	野々川 信
北設楽郡	○ 宮崎 仁	
新田	○ 伊藤 幸義	
原市	○ 米田 正弘	
	○ 國見 知明	

参 与	細川 秀一    小出 詠子    田那村 收    浦田 士郎    大石 明宣
	渡辺 嘉郎    松浦 誠司    西脇 毅    河村 英徳    横山 正
	船橋 克明    森 亮太    岡本 晃    西山 朗

責任者欄の○印は、連盟委員長・医師会長    □は連盟委員長    △は副会長等